

# 県の集団接種場開設

## 岡山初日は看護学生ら

### 新型コロナ

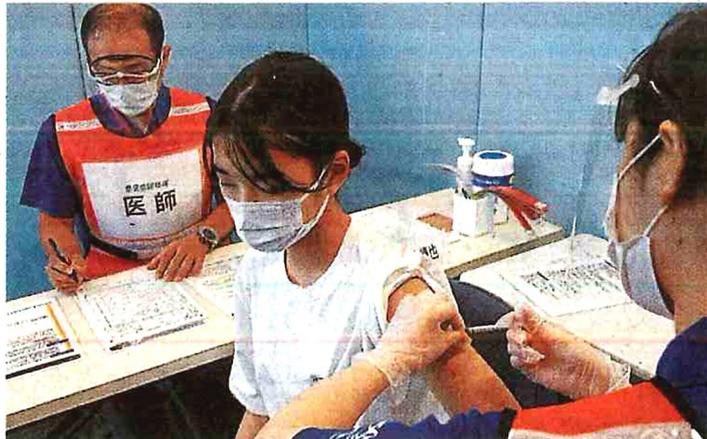
県が設置した新型コロナウイルスワクチンの集団接種

種会場が14日、川崎医科大学総合医療センター（岡山市北区）に開設され、医療従事者や先行接種の対象となっている高齢者施設の職員の接種が始まった。17日には県南部健康づくりセンター（同）でも開設され、2会場で計約1万5千人にモデルナ社製のワクチンを接種する予定。

この日は、倉敷市の川崎医療福祉大学保健看護学部の学生が接種を受けた。接種を終えた3年の平松彩音さん（20）は「患者と接する看護実習が夏にあるので、このタイミングはありがたい」と笑顔を見せた。

視察に訪れた伊原木隆太知事は「工夫して、接種スピードを上げていきたい」と述べた。

県は、予約がキャンセルされるなどした分は、県警職員や教職員、県の危機管理部局の職員に接種するとしている。（高橋孝二）



ワクチンの接種を受ける学生 岡山市北区中山下2丁目